

また、令和4年10月1日からは、かのや市電子図書館サービスが始まり、図書館でも館内にフリーWi-Fiを設置して、電子図書館に対応する環境を整えている。

なお、移動図書館はたる号のイベント出張（令和3年度1回→令和4年度4回）や、スタッフの出張おはなし会（令和3年度1回→令和4年度7回）と外部との連携を図り、図書館に来てもらうだけでなく、自分たちで地域に飛び込む取組に力を入れている。

今後もこのような取組の継続を期待する。

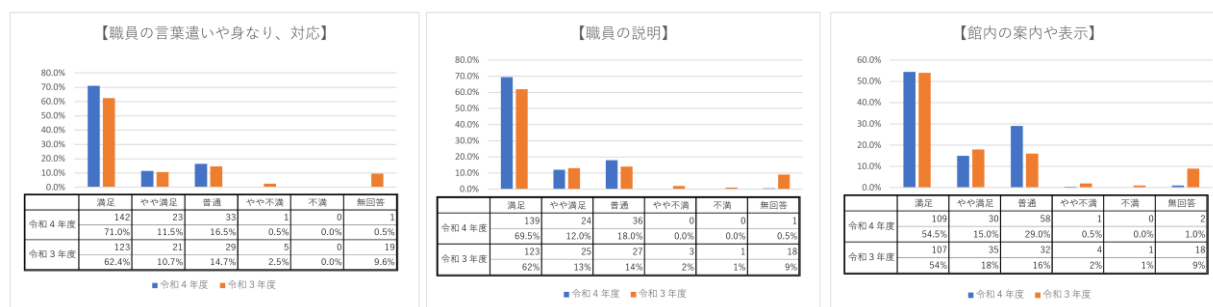
2 市民サービスの向上について

利用者アンケートにおいて、「職員の言葉遣いや身なり、対応」「職員の説明」「館内の案内や表示」すべての項目で「満足」「やや満足」の割合が増えた。

しかしながら、令和元年度までは「満足」「やや満足」の回答が約85～90%を得ていたことや、アンケートや館内設置の「ご意見ポスト」に寄せられた意見でも職員の勤務態度についても意見が数件あったため、研修等を通じて今後も利用者のサービス改善を期待したい。

※図書館利用者アンケート

（調査期間：令和4年12月実施、アンケート用紙200枚を配布し200枚回収）



3 総評

各種事業の参加者を継続的な利用者に繋げるため、事業内容の充実を図っている。また、「ご意見箱」の設置やアンケートの実施により市民の声を積極的に取り入れるなど、図書館の利用者サービスについては高く評価できる。

また、令和4年度はブックフェスタなど規模の大きなイベントも再開したので、今後は制限していた定員や規模をコロナ以前に戻したイベント実施及び中・高生や一般利用者を中心とした新規利用者の増加へ向けた取組を行い、図書館の利用促進に繋がっていただきたい。

なお、今後も鹿屋市の推進する「親と子の20分間読書」運動と連携して、普及啓発や実践について取り組んでいただきたい。

【今後の業務改善に向けた考え方】

≪指定管理者が実施・検討する事項≫

- (1) 既存の事業等に加えて新たな取り組みで図書館利用者の増加に向けた取組を図る。
- (2) Facebookなどで、イベント等のこまめな情報発信を行い利用促進を図る。
- (3) 「親と子の20分間読書」運動と関連した取組を行う。

≪施設所管課が実施・検討する事項≫

- (1) 「親と子の20分間読書」運動の推進、周知を行う。
- (2) 安全な利用環境の確保を図るため、老朽化した施設について計画的な修繕を実施する。
- (3) 子どもの読書活動のさらなる推進を図るための取組について検討・導入を行う。
- (4) 新たな取組など改善点が多く考えられるため、図書館と連携を強化する。
- (5) まちなか図書館をはじめ、地域の読書環境の整備を図る。

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

①合目的性・公平性・効果性

大隅広域図書館ネットワークで、他市町との図書貸借の中継や、予約図書の貸出サービスの開始に伴う予約図書の配送・回収を担うなど利用窓口の拡充を図るほか、移動図書館車「ほたる号」により施設から離れた地域への貸出サービスの提供を行うなど大隅半島で広域的な読書活動の啓発・普及を図っている。

・開館時間：午前9時～午後7時

・休館日：月曜日、12月29日～翌年1月3日

(2)業務内容

①機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

「ミニ図書館まつり」や「図書館ウインターコンサート」等図書館に足を運んでもらうための工夫を凝らしたイベントを開催し、新たな利用者の掘り起こしを行っている。

県立図書館の団体配本の取りまとめをし、地域への読書推進にも力を入れている。

②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

館長を中心に計12名のスタッフで運営を行っている。司書資格者は8名で、指定管理者募集の要件である3割を上回っており、専門的知識を活かしたレファレンスが行われている。また、図書室司書への研修会や指定管理者独自での研修会を開催するなど職員のスキルアップに努めている。

③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

会計処理は本社経理部で、施設保守は専門業者へ再委託を行うなど、業務分担が明確に分かれていることから、図書館職員は、図書館業務に専念することができ、個人情報等を有する書類等の適正な管理や利用者サービスの充実が図られている。

④安全性（安全管理・緊急時等の対応）

毎月の施設点検や法定点検を実施して、危険箇所は速やかに所管課へ報告して修繕を行うなど、施設の安全維持を図っている。定期的な館内巡回に加え、危機管理マニュアルに基づいた消防・消火訓練等を行い、安全管理に努めている。

⑤社会性（環境等への配慮）

こまめな消灯など無駄な電力の削減に努めているほか、電気・LPG使用量、図書館車両の燃料消費量の調査を毎月行い、環境問題を意識した管理運営を行っている。

(3)事業収支

①経済性

イベントで使う道具の自主制作や、廃材等の再利用など経費削減に努め、電気料削減を図るため令和4年4月からLED照明のリース契約を結んだ。しかし、令和4年度は光熱水費等の高騰により令和4年度3月追加補正を行ったが、電気料が予算額を上回る結果となった。

残り3年間の指定管理契約期間で賄うこと、今後は収支内で支出できる見込みがあるとのこと。

(4)団体の経営状態

①経営の健全性

指定管理者の本社である株式会社図書館流通センターの令和5年1月期決算では、売上高は前年度比98.27%、経常利益は前年度比△9.83%となっている。

また、財務比率は、自己資本比率63.7%、流動比率176.6%、固定比率79.0%、総資本経常利益4.3%と一般的な基準を確保しており健全経営である。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市立図書館	所管課：生涯学習課	
所在地	鹿屋市北田町11107番地	設置年月日：昭和56年5月	
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保有して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする（図書館法第2条）		
設置の根拠 (法令、条例等)	図書館法 鹿屋市立図書館条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積（㎡）	5,742㎡
		延床面積（㎡）	2,073.49㎡
		《無料》 図書館法第17条の規定により、利用料金制度は導入していない。	
	事業概要	(1) 管理運営に関する業務 (2) 図書館事業に関する業務 (3) その他の業務（視聴覚機材貸出外）	

2 経営分析評価指標

① 事業収支	△998,574円	④外部委託費比率	6.4%
② 利用料金比率	—	⑤利用者あたり管理運営コスト	824.6円
③ 人件費比率	49.3%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	808.9円

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施内容（実績）
開館日数	298日
開館時間	9時～19時
事業開催	<p>①図書館イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回図書館まつり（ブックリサイクル、おはなし会） ・第4回鹿屋市高校生ビブリオバトル大会（バトラー9名、観覧者60名） ・夜のこわ〜いおはなし会（参加者15組） ・図書館de学び塾（5回開催、参加者27人） ・鹿屋市文化ゾーンまるごとブックフェスタ（図書館イベント参加者184名） ・図書館ウインターコンサート（参加者65人） ・かのや市電子図書館関連ワークショップ（参加者91人） <p>②読書推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の実施（図書館内34回／参加者468名） ・巡回・出張おはなし会（17回／参加者1,260名） ・ブックスタート事業（絵本管理） ・貸出文庫 ・どくしょつうちょう配布 ・「としょかんだより」毎月210部発行 <p>③コンテスト関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エッセイコンテスト（応募297編） ・第8回図書館を使った調べる学習コンクール（応募作品64点）

4 利用実績

項 目		令和3年度実績	令和4年度実績	前年比
図書館本館	入館者数	61,362人	59,298人	△2,064人
	貸出者数	46,147人	47,291人	1,144人
	貸出冊数	293,742冊	296,243冊	2,501冊
	新規登録者数	1,104人	1,003人	△101人
移動図書館車	利用者数	9,249人	9,179人	△70人
	貸出冊数	26,106冊	26,591冊	485冊
	新規登録者数	592人	782人	190人
蔵書数		193,572冊	194,985冊	1,413冊
レファレンス件数		3,330件	2,603件	△727件
複写サービス		202件	204件	2件
相互貸借数		421冊	625冊	204件
図書予約		10,452件	10,755件	303件

5 事業収支

(単位:千円)

項 目	実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
指定管理料	53,370	55,391
その他収入	77	76
収入計 (A)	53,447	55,467
人件費	30,800	30,507
委託料	2,695	3,641
旅費	550	94
図書費	10,164	10,497
修繕料	626	627
消耗品費	759	390
通信運搬費	506	498
印刷製本費	165	215
光熱水費	4,103	5,261
燃料費	312	281
手数料	0	95
備品購入費	1,925	1,883
租税公課費	11	8
使用料	55	1,213
保険料	271	129
事業費	368	1,027
広告宣伝費	82	56
雑費	55	44
支出計 (B)	53,447	56,466
収支 (A) - (B)	0	△999

指定管理者自己評価表

2023 年 5 月 31 日

指定管理者 株式会社図書館流通センター施 設 名 鹿屋市立図書館

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	③・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	③・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	③・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	③・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	③・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	③・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	③・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・②・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・②・1
総合評価 (所感)	<p>図書館の利用状況は減少傾向が続いていたが、感染対策が緩和されて徐々に回復し、貸出者数及び冊数については前年をやや上回ることができた。しかし、コロナ以前の利用状況と比較しても元に戻ったとはいえ、今後の利用回復に向けた取り組みが課題。</p> <p>「かのや市電子図書館」サービスが開始され、図書館でも館内無料Wi-Fiの設置や関連イベントの開催など電子図書館の利用促進を図っている。また、SNSやホームページによる広報の充実と積極的な情報発信を行うとともに、外部との連携にも力を入れ移動図書館車のイベント出張や出張おはなし会など図書館の外へも出向く機会を増やしている。</p>	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。